

表一 1.9.3 施工機械燃料使用量計上例（建設段階）

種別・規格		燃料の種別	①時間当り消費燃料(ℓ/h)	日当り消費燃料①×5h	工種毎の稼働日数						燃料使用量(ℓ)
					不陸 整正	下層 路盤工	上層路盤工		基層	表層	
							1	2			
モータグレーダ	油圧式ブレード幅3.1m	軽油	9.2	46.0	3.67	5.84	5.68				698.74
ロードローラ	マカダム10～12t	軽油	6.0	30.0	3.67	5.84	5.68	2.31	2.31	2.31	663.60
タイヤローラ	タイヤローラ8～20t	軽油	7.1	35.5	3.67	5.84	5.68	2.31	2.31	2.31	785.26
アスファルトフィニッシャ	ホイール型2.4～6.0m	軽油	11.0	55.0				2.31	2.31	2.31	381.15

表一 1.9.4 資材数量計上例（建設段階）

資材名・規格		単位	不陸整正	下層路盤工	上層路盤工		基層	表層	合計
					1	2			
路盤材	C-40, t=20cm	t		2,588.88					2,588.88
路盤材	M-40, t=15cm	t			1,898.03				1,898.03
瀝青安定処理	t=10cm, アスファルト量4.1%	t				1,351.06			1,351.06
粗粒度アスファルト混合物	20mm, t=5cm, アスファルト量5%	t					675.26		675.26
密粒度アスファルト混合物	13mm, t=5cm, アスファルト量5.5%	t						661.29	661.29
プライムコート	PK-3	ℓ				6,768.72			6,768.72
タックコート	PK-4	ℓ					2,309.96	2,309.96	4,619.92

表－1.9.5 運搬機械の燃料使用量計算例

	運搬資材	運搬機械	仕様・規格	燃料種別	運搬総重量(t)	使用台数(台)	運搬機械1台当り				燃料使用量(ℓ)
							運搬距離(km)	燃費(km/ℓ)	稼働時間(h)	時間当り燃料消費量(ℓ/h)	
a)	路盤材 (C-40)	ダンプトラックA	10t積み	軽油	4,477	448	50	4.0	1.0	－	5,600
b)	路盤材 (C-40)	ダンプトラックB	10t積み	軽油	4,477	448	50	－	1.0	12.0	5,376

表－1.9.6 運搬機械の燃料使用量計上例

運搬機械名	燃料種別	運搬総質量(t)	運搬距離(km)	最大積載重量(t)	積載率(%)	運搬トンキロ当り燃料消費量(ℓ/t・km)	燃料使用量(ℓ)
トラック	軽油	120.0	200.0	10.0	80.0	0.044	1,056

付表－ 1.9.1a 施工機械別時間当り燃料消費量

建設機械名	規 格	燃料 種別	時間当り燃 料消費量 (ℓ/h)
ブルドーザ	3 t 級	軽油	5.1
	6 t 級	軽油	9.3
	15 t 級	軽油	18.0
	21 t 級	軽油	27.0
	32 t 級	軽油	36.0
小型バックホウ	クローラ型 平積0.03m ³	軽油	1.9
	クローラ型 平積0.08m ³	軽油	3.5
	クローラ型 平積0.10m ³	軽油	4.4
バックホウ	クローラ型 平積0.2m ³	軽油	7.2
	クローラ型 平積0.35m ³	軽油	11.0
	クローラ型 平積0.4m ³	軽油	11.0
	クローラ型 平積0.6m ³	軽油	18.0
	クローラ型 平積1.0m ³	軽油	29.0
	クローラ型クレーン機能付 2.9 t 吊 平積0.35m ³	軽油	11.0
	クローラ型クレーン機能付 2.9 t 吊 平積0.4m ³	軽油	11.0
ホイールローダ	山積0.4m ³	軽油	6.4
ダンプトラック	2 t 積	軽油	4.4
	4 t 積	軽油	6.8
	10 t 積	軽油	12.0
トラック	2 t 積	軽油	4.9
	4～4.5 t 積	軽油	6.9
	8 t 積	軽油	9.3
	11 t 積	軽油	13.0
	クレーン装置付2 t 2 t 吊	軽油	4.9
	クレーン装置付4 t 2.9 t 吊	軽油	6.6
クローラクレーン	機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型 35～40 t 吊	軽油	8.4
	機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型 45～50 t 吊	軽油	9.1
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 30～35 t 吊	軽油	10.0
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 40～45 t 吊	軽油	10.0
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 50～55 t 吊	軽油	12.0

付表－ 1.9.2 素材の CO₂ 原単位

素材名	規格	投入単位	CO ₂ 原単位 ^{注)} (kg-CO ₂ /投入単位)
ストレートアスファルト		t	248
ポリマー改質アスファルト	Ⅱ型	t	474
	H型	t	612
アスファルト乳剤	PK-3, PK-4	ℓ	0.164
単粒度碎石	4～7号	t	5.39
スクリーニングス		t	5.39
砂	粗砂, 細砂	t	0.55
ファイラー	石灰石粉	t	1.21
再生骨材		t	2.08

注) 積上げ式により求めた原単位であり、輸送により排出されるCO₂は含まれない。

付表－ 1.9.3 施工機械の製造時 CO₂ 排出量を稼動時償却分として割当てた時間当り現場償却分 CO₂ 原単位

建設機械名	規 格	現場償却分 CO ₂ 原単位 (kg-CO ₂ /h)
ブルドーザ	3 t 級	4.99
	15 t 級	15.21
バックホウ	0.35m ³	8.65
	0.4m ³	8.65
	0.6m ³	12.95
ダンプトラック	2 t 積	1.79
	4 t 積	2.51
	10 t 積	5.39
トラック	2 t 積	1.57
	4～4.5 t 積	2.77
	8 t 積	4.15
	11 t 積	5.51
	クレーン装置付 2 t 2 t 吊	2.39
	クレーン装置付 4 t 2.9 t 吊	4.00
セミトレーラ	14 t 積	10.01
	15 t 積	10.75
	20 t 積	13.83
	25 t 積	15.51
モータグレーダ	ブレード幅3.1m	10.35
ロードローラ	マカダム, 質量10～12 t	7.67
タイヤローラ	質量 8～20 t	7.04
振動ローラ	ハンドガイド式 質量0.8～1.1 t	2.53
	搭乗式・タンデム型 質量2.4～2.8 t	5.19
	搭乗式・コンバインド型 質量3～4 t	7.96
タンパ及びランマ	タンパ及びランマ質量60～100kg	0.43
散水車	散水車 8～20 t	5.21
アスファルトフィニッシャ	ホイール型 舗装幅1.4～3.0m	4.28
	ホイール型 舗装幅2.4～4.5m	5.89
コンクリートカッタ	手動式ブレード 径30cm	0.57

付表－1.9.4 燃料，電気のCO₂原単位

	排出係数	発熱量	CO ₂ 原単位 ^{注)}
燃料の燃焼に伴う排出			
原料炭	0.0245 kg-C/MJ	28.9 MJ/kg	2.60 kg-CO ₂ /kg
一般炭	0.0247 kg-C/MJ	26.6 MJ/kg	2.41 kg-CO ₂ /kg
無煙炭	0.0255 kg-C/MJ	27.2 MJ/kg	2.54 kg-CO ₂ /kg
コークス	0.0294 kg-C/MJ	30.1 MJ/kg	3.24 kg-CO ₂ /kg
原油	0.0187 kg-C/MJ	38.2 MJ/ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ
ガソリン	0.0183 kg-C/MJ	34.6 MJ/ℓ	2.32 kg-CO ₂ /ℓ
灯油	0.0185 kg-C/MJ	36.7 MJ/ℓ	2.49 kg-CO ₂ /ℓ
軽油	0.0187 kg-C/MJ	38.2 MJ/ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ
A 重油	0.0189 kg-C/MJ	39.1 MJ/ℓ	2.71 kg-CO ₂ /ℓ
B・C 重油	0.0195 kg-C/MJ	41.7 MJ/ℓ	2.98 kg-CO ₂ /ℓ
液化石油ガス (LPG)	0.0163 kg-C/MJ	50.2 MJ/kg	3.00 kg-CO ₂ /kg
石油系炭化水素ガス	0.0142 kg-C/MJ	44.9 MJ/m ³	2.34 kg-CO ₂ /m ³
液化天然ガス (LNG)	0.0135 kg-C/MJ	54.5 MJ/kg	2.70 kg-CO ₂ /kg
天然ガス	0.0139 kg-C/MJ	40.9 MJ/m ³	2.08 kg-CO ₂ /m ³
コークス炉ガス	0.0110 kg-C/MJ	21.1 MJ/m ³	0.85 kg-CO ₂ /m ³
高炉ガス	0.0266 kg-C/MJ	3.41 MJ/m ³	0.33 kg-CO ₂ /m ³
転炉ガス	0.0384 kg-C/MJ	8.41 MJ/m ³	1.18 kg-CO ₂ /m ³
都市ガス	0.0138 kg-C/MJ	41.1 MJ/m ³	2.08 kg-CO ₂ /m ³
電気使用に伴う排出			
一般電気事業者	－	－	0.555 kg-CO ₂ /kWh

注) CO₂原単位 = 排出係数 × 発熱量 × 44/12

付表－1.9.5 平成19年度の電気事業者別のCO₂原単位

電気事業者名	CO ₂ 原単位
北海道電力(株)	0.517 kg-CO ₂ /kWh
東北電力(株)	0.473 kg-CO ₂ /kWh
東京電力(株)	0.425 kg-CO ₂ /kWh
中部電力(株)	0.470 kg-CO ₂ /kWh
北陸電力(株)	0.457 ^{注)} kg-CO ₂ /kWh
関西電力(株)	0.366 kg-CO ₂ /kWh
四国電力(株)	0.392 kg-CO ₂ /kWh
九州電力(株)	0.387 kg-CO ₂ /kWh

注) 北陸電力については、環境省の平成19年度公表資料に示されていないため、平成18年度のデータを示した。

2.3 セメントのCO₂原単位

セメントのCO₂原単位を付表－1.9.6に示す。これは(社)セメント協会が2009年6月19日にホームページ上に公表されたものである。このCO₂原単位は石灰石脱炭酸、化石燃料燃焼、燃料としての廃棄物等燃焼に伴うCO₂排出量から焼却不要によるCO₂排出削減量を減じたものである。

付表－1.9.6 セメントのCO₂原単位

セメントの種別	CO ₂ 原単位(kg-CO ₂ /t)
ポルトランドセメント	798.1
高炉B種	480.1

付表－1.9.9a 密粒度アスファルト混合物（13）のCO₂原単位算定の例

		使用量	投入 単位	原単位 (kg-CO ₂ /投入単位)	排出量 (kg-CO ₂)	備考
素材	6号砕石	287.28	t	8.40	2,413.15	輸送距離20kmと仮定 ^{注1)}
	7号砕石	120.96	t	8.40	1,016.06	輸送距離20kmと仮定
	スクリーニングス	120.96	t	8.40	1,016.06	輸送距離20kmと仮定
	粗砂	120.96	t	3.56	430.62	輸送距離20kmと仮定
	細砂	60.48	t	3.56	215.31	輸送距離20kmと仮定
	石粉	45.36	t	4.22	191.42	輸送距離20kmと仮定
	ストレートアスファルト	44.00	t	269.38	11,852.72	輸送距離240kmと仮定 ^{注2)}
製造	電力	8,000.00	kWh	0.555	4,440.00	アスファルトプラント消費
	A重油	6,165.00	ℓ	2.71	16,707.15	アスファルトプラント消費
	軽油	256.00	ℓ	2.62	209.52	重機燃料消費
生産量		800.0	t/日		38,953.21	kg-CO ₂
密粒度アスファルト混合物（アスファルト量5.5%）						48.69 kg-CO ₂ /t

注1) 骨材輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.0575 × 20 = 3.01 kg-CO₂/t

注2) アスファルト輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.034 × 240 = 21.38 kg-CO₂/t

付表－ 1.9.9b 粗粒度アスファルト混合物（20）のCO₂原単位算定の例

		使用量	投入 単位	原単位 (kg-CO ₂ /投入単位)	排出量 (kg-CO ₂)	備考
素材	5号碎石	150.48	t	8.40	1,264.03	輸送距離20kmと仮定 ^{注1)}
	6号碎石	259.92	t	8.40	2,183.33	輸送距離20kmと仮定
	7号碎石	124.64	t	8.40	1,046.98	輸送距離20kmと仮定
	スクリーニングス	65.36	t	8.40	549.02	輸送距離20kmと仮定
	粗砂	75.24	t	3.56	267.85	輸送距離20kmと仮定
	細砂	57.76	t	3.56	205.63	輸送距離20kmと仮定
	石粉	26.60	t	4.22	112.25	輸送距離20kmと仮定
製造	ストレートアスファルト	40.00	t	269.38	10,775.20	輸送距離240kmと仮定 ^{注2)}
	電力	8,000.00	kWh	0.555	4,440.00	アスファルトプラント消費
	A重油	6,165.00	ℓ	2.71	16,707.15	アスファルトプラント消費
	軽油	256.00	ℓ	2.62	670.72	重機燃料消費
生産量		800 t/日		38,222.16		kg-CO ₂
粗粒度アスファルト混合物（アスファルト量5%）						47.78 kg-CO ₂ /t

注1) 骨材輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.0575 × 20 = 3.01 kg-CO₂/t

注2) アスファルト輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.034 × 240 = 21.38 kg-CO₂/t

付表－ 1.9.9c アスファルト安定処理混合物のCO₂原単位算定の例

		使用量	投入 単位	原単位 (kg-CO ₂ /投入単位)	排出量 (kg-CO ₂)	備考
素材	C-40	646.75	t	8.40	5,432.70	輸送距離20kmと仮定 ^{注1)}
	スクリーニングス	106.64	t	8.40	895.78	輸送距離20kmと仮定
	石粉	13.81	t	4.22	58.28	輸送距離20kmと仮定
	ストレートアスファルト	32.80	t	269.38	8,835.66	輸送距離240kmと仮定 ^{注2)}
製造	電力	8,000.00	kWh	0.555	4,440.00	アスファルトプラント消費
	A重油	6,165.00	ℓ	2.71	16,707.15	アスファルトプラント消費
	軽油	256.00	ℓ	2.62	670.72	重機燃料消費
生産量		800.0 t/日		37,040.29		kg-CO ₂
アスファルト安定処理（アスファルト量4.1%）						46.30 kg-CO ₂ /t

注1) 骨材輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.0575 × 20 = 3.01 kg-CO₂/t

注2) アスファルト輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.034 × 240 = 21.38 kg-CO₂/t

付表－ 1.9.9d 再生密粒度アスファルト混合物(13)のCO₂原単位算定の例

		使用量	投入 単位	原単位 (kg-CO ₂ /投入単位)	排出量 (kg-CO ₂)	備考
素材	6号砕石	114.92	t	8.40	965.33	輸送距離20kmと仮定 ^{注1)}
	7号砕石	48.38	t	8.40	406.39	輸送距離20kmと仮定
	スクリーニングス	48.38	t	8.40	406.39	輸送距離20kmと仮定
	粗砂	48.38	t	3.56	172.23	輸送距離20kmと仮定
	細砂	24.19	t	3.56	86.12	輸送距離20kmと仮定
	石粉	18.15	t	4.22	76.59	輸送距離20kmと仮定
	再生骨材(60%)	480.00	t	2.08	998.40	注2)
	ストレートアスファルト	17.60	t	269.37	4,740.91	輸送距離240kmと仮定 ^{注3)}
製造	電力	8,000.00	kWh	0.555	4,440.00	アスファルトプラント消費
	A重油	7,760.00	ℓ	2.71	21,029.60	アスファルトプラント消費
	軽油	256.00	ℓ	2.62	670.72	重機燃料消費
生産量		800.0 t/日		33,992.68		kg-CO ₂
再生密粒度アスファルト混合物(アスファルト量5.5%)				42.49	kg-CO ₂ /t	

注1) 骨材輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.0575 × 20 = 3.01 kg-CO₂/t

注2) アスファルトコンクリート塊を中間処理施設まで運搬することによるCO₂排出については考慮していない。

注3) アスファルト輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.034 × 240 = 21.38 kg-CO₂/t

付表－ 1.9.9e ポリマー改質Ⅱ型アスファルトを用いた密粒度アスファルト混合物(13)のCO₂原単位算定の例

		使用量	投入 単位	原単位 (kg-CO ₂ /投入単位)	排出量 (kg-CO ₂)	備考
素材	6号砕石	287.28	t	8.40	2,413.15	輸送距離20kmと仮定 ^{注1)}
	7号砕石	120.96	t	8.40	1,016.06	輸送距離20kmと仮定
	スクリーニングス	120.96	t	8.40	1,016.06	輸送距離20kmと仮定
	粗砂	120.96	t	3.56	430.62	輸送距離20kmと仮定
	細砂	60.48	t	3.56	215.31	輸送距離20kmと仮定
	石粉	45.36	t	4.22	191.42	輸送距離20kmと仮定
	ポリマー改質Ⅱ型	44.00	t	495.38	21,796.72	輸送距離240kmと仮定 ^{注2)}
	製造	電力	8,000.00	kWh	0.555	4,440.00
A重油		6,782.00	ℓ	2.71	18,379.22	アスファルトプラント消費
軽油		256.00	ℓ	2.62	670.72	重機燃料消費
生産量		800 t/日		49,306.68		kg-CO ₂
改質アスファルト混合物(アスファルト量5.5%)				63.21	kg-CO ₂ /t	

注1) 骨材輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.0575 × 20 = 3.01 kg-CO₂/t

注2) アスファルト輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.034 × 240 = 21.38 kg-CO₂/t

付表— 1.9.9f 中温化技術を利用した密粒度アスファルト混合物（13）のCO₂原単位算定の例（30℃低減）

		使用量	投入 単位	原単位 (kg-CO ₂ /投入単位)	排出量 (kg-CO ₂)	備考
素材	6号砕石	287.28	t	8.40	2,413.15	輸送距離20kmと仮定 ^{注1)}
	7号砕石	120.96	t	8.40	1,016.06	輸送距離20kmと仮定
	スクリーニングス	120.96	t	8.40	1,016.06	輸送距離20kmと仮定
	粗砂	120.96	t	3.56	430.62	輸送距離20kmと仮定
	細砂	60.48	t	3.56	215.31	輸送距離20kmと仮定
	石粉	45.36	t	4.22	191.42	輸送距離20kmと仮定
	ストレートアスファルト	44.00	t	269.38	11,852.72	輸送距離240kmと仮定 ^{注2)}
	中温化剤(30℃低減) ^{注3)}	0.13	t	390	429	アスファルトの0.3%
製造	電力	8,000.00	kWh	0.555	4,440.00	アスファルトプラント消費
	A重油	5,178.6	ℓ	2.71	14,034.01	アスファルトプラント消費
	軽油	256.00	ℓ	2.62	670.72	重機燃料消費
生産量		800 t/日		36,709.07		kg-CO ₂
中温化技術を利用したアスファルト混合物(アスファルト量5.5%)					45.89	kg-CO ₂ /t

注1) 骨材輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.0575 × 20 = 3.01 kg-CO₂/t

注2) アスファルト輸送分のCO₂排出量 = 2.62 × 0.034 × 240 = 21.38 kg-CO₂/t

注3) ここに示す中温化剤の原単位は一例である。中温化剤は様々なものがあることから使用する中温化剤の供給メーカーでCO₂原単位を明らかにしてもらるか、聞き取り調査を行い、原単位を算定し、それを用いる。

付表－ 1.9.10 一般的な舗装の建設機械、資材、燃料投入数量の例

種別・規格				単位	不陸整正	下層路盤工	上層路盤工		基層	表層
							1層目	2層目		
機械	モータグレーダ	油圧式ブレード幅3.1m	46ℓ/日	日	3.67	5.84	5.68			
	ロードローラ	マカダム10～12 t	30ℓ/日	日	3.67	5.84	5.68	2.31	2.31	2.31
	タイヤローラ	タイヤローラ 8～20 t	35.5ℓ/日	日	3.67	5.84	5.68	2.31	2.31	2.31
	アスファルトフィニッシャ	ホイール型2.4～6.0m	55ℓ/日	日				2.31	2.31	2.31
資材	路盤材	C-40, t =20cm	t			2,588.88				
	路盤材	M-40, t =15cm	t			1,898.03				
	瀝青安定処理	t =10cm, アスファルト量4.1%	t				1,351.06			
	粗粒度アスファルト混合物	20mm, t =5cm, アスファルト量5.0%	t					675.26		
	密粒度アスファルト混合物	13mm, t =5cm, アスファルト量5.5%	t							661.29
	プライムコート	PK-3	ℓ					6,768.72		
タックコート	PK-4	ℓ						2,309.96	2,309.96	
資機材運搬機械	ダンプトラック(下層路盤)	10t積み, 輸送距離20km, 61台	12ℓ/日	h		260.00				
	ダンプトラック(上層路盤1)	10t積み, 輸送距離20km, 45台	12ℓ/日	h			190.00			
	ダンプトラック(上層路盤2)	10t積み, 輸送距離20km, 136台	12ℓ/日	h				136.0		
	ダンプトラック(基層)	10t積み, 輸送距離20km, 68台	12ℓ/日	h					68.00	
	ダンプトラック(表層)	10t積み, 輸送距離20km, 67台	12ℓ/日	h						67.00
	トレーラ	25積, 輸送距離40km, 4台	15ℓ/日	h	3.00		1.00	1.00		3.00
燃料	軽油(機械, 資機材運搬機械)			ℓ	454.21	3,771.16	2,928.32	1,925.36	1,094.36	1,127.36
	ガソリン(機械, 資機材運搬機械)			ℓ						

注1) 機械の燃料使用量については、ここでは1日5時間稼働するものとして、

9.2ℓ/h × 5h/日 = 46ℓ/日のように求めている。

注2) ダンプトラック260.00hとは、一台当たり10t積載し、20kmを1時間で運搬するものとして求めたもの。

注3) 軽油消費量の求め方は、例えば不陸整正であれば3.67日 × 46ℓ/日 + 3.67日 × 30ℓ/日 + 3.67日 × 35.5ℓ/日 + 3.00h × 15ℓ/h = 454.21ℓのようにして求める。

付表－ 1.9.11 一般的な舗装のCO₂排出量算定例

種 別・規 格		CO ₂ 原単位	不陸	下層	上層路盤工		基層	表層	
			整正	路盤工	1	2			
機械	モータグレーダ	油圧式ブレード幅3.1m	51.75kg-CO ₂ /日	190	302	294			
	ロードローラ	マカダム10～12 t	38.35kg-CO ₂ /日	141	224	218	89	89	
	タイヤローラ	タイヤローラ 8～20 t	35.20kg-CO ₂ /日	129	206	200	81	81	
	アスファルト フィニッシャ	ホイール型2.4～6.0m	127.40kg-CO ₂ /日				294	294	
	小計			460	732	712	464	464	
	機械CO ₂ 排出量の合計			3,296					
資材	路盤材	C-40, t =20cm	5.39kg-CO ₂ /t		13,954				
	路盤材	M-40, t =15cm	5.39kg-CO ₂ /t			10,230			
	瀝青安定処理	t =10cm, アスファルト量4.1%	48.69kg-CO ₂ /t				65,783		
	粗粒度アスファルト 混合物	20mm, t = 5 cm, アスファルト量5.0%	47.78kg-CO ₂ /t					32,264	
	密粒度アスファルト 混合物	13mm, t= 5 cm, アスファルト量5.5%	48.69kg-CO ₂ /t					32,198	
	プライムコート	PK-3	0.164kg-CO ₂ /ℓ				1,110		
	タックコート	PK-4	0.164kg-CO ₂ /ℓ					379	
	小計			0	13,954	10,230	66,893	32,643	32,577
資材CO ₂ 排出量の合計			156,297						
資機材運搬機械	ダンブトラック (下層路盤)		5.39kg-CO ₂ /h		1,401				
	ダンブトラック (上層路盤1)		5.39kg-CO ₂ /h			1,019			
	ダンブトラック (上層路盤2)		5.39kg-CO ₂ /h				733		
	ダンブトラック (基層)		5.39kg-CO ₂ /h					361	
	ダンブトラック (表層)		5.39kg-CO ₂ /h					361	
	トレーラ (25 t)		15.51kg-CO ₂ /h	47		16	16		
	小計			35	246	193	561	275	306
資機材輸送機械CO ₂ 排出量の合計			4,012						
燃料	軽油 (機械, 資機材運搬機械)		2.62kg-CO ₂ /ℓ	1,190	9,880	7,672	5,044	2,867	2,954
	ガソリン (機械, 資機材運搬機械)		2.32kg-CO ₂ /ℓ						
	小計			1,190	9,880	7,672	5,044	2,867	2,954
燃料CO ₂ 排出量の合計			29,607						
CO ₂ 排出量の合計 (kg-CO ₂)			193,212						